

2025年度から

国家公務員採用試験 一般職大卒程度試験に

「教養区分」が新設されます

一般職
教養区分

新設

point
01

教養区分は
こんな方に
オススメ!



- ✓ 自分の強みは理解力と高い処理能力!
- ✓ 物事を広い視野と知識で捉えるのが得意!

point
02

教養区分の
オススメ
ポイント!

専門試験

ナシ!

- ✓ 文系・理系の「専門試験」対策が不要!

point
03

教養区分の
オススメ
ポイント!



- ✓ 大学3年生春から受験チャンス^{※1}をいかして国家公務員を目指す!

point
04

教養区分の
オススメ
ポイント!

採用チャンスは
6年間



- ✓ 最終合格発表後6年間は採用試験免除!^{※2}

※1:20歳(大学3年生など)から受験可能。2年続けて受験も可能。
※2:最終合格後、採用候補者名簿(6年間有効)に記載されます。
(採用された場合はその時点で名簿から削除)

教養区分の特徴

- 自分が働きたい地域を選んで受験できます。(行政区分と同様)
- 地域区分は、北海道・東北・関東甲信越・東海北陸・近畿・中国・四国・九州・沖縄の9エリア。どの地域区分で受験しても、本省庁への採用チャンスがあります。

第1次試験

■ 基礎能力試験

公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての、多肢選択式(5択)マークシート試験。

■ 課題対応能力試験

速く正確に課題を解く能力についての、多肢選択式(5択)マークシート試験。

■ 一般教養論文試験

一般的な教養を土台とした判断力、思考力についての、論文試験。

第2次試験

■ 人物試験

人柄、対人的能力などについての個別面接。

採用地域が選べる!



一般職試験 教養区分 Q&A

Q1

一般職試験の教養区分は他の国家公務員採用試験と併願できますか？

一般職試験(大卒程度試験)は、全区分で第1次試験が同一日程ですので、同じ年度の試験で教養区分とそれ以外の試験の区分とは併願(重複申込み)できません。

一方で、総合職試験や専門職試験など、第1次試験日が重ならない他の採用試験については、併願も可能です。(例:春の一般職試験(大卒程度試験)教養区分と、秋の総合職試験(大卒程度試験)教養区分の併願)



Q2

教養区分の合格者数・採用予定数は、どのくらいですか？

2025年度から新設する教養区分の採用予定数などについては、他の試験の区分とともに、2月頃に人事院が公表します。

合格者数は各府省の採用予定数を踏まえて決定することとなりますが、参考として、2024年度の一般職試験(大卒程度試験)の合格者数等は右のとおりです。

区分試験	採用予定数	試験申込者数	第1次試験受験者数	最終合格者数	受験倍率
行政(全地域合計)	3,380	20,720	15,123	6,075	2.5
デジタル・電気・電子	260	455	258	164	1.6
機械	120	199	132	83	1.6
土木	390	819	543	312	1.7
建築	60	136	82	52	1.6
物理	150	285	190	155	1.2
化学	180	443	270	172	1.6
農学	190	661	460	285	1.6
農業農村工学	40	149	111	57	1.9
林学	140	373	294	202	1.5

※「受験倍率」は「第1次試験受験者数」÷「最終合格者数」
※単位:受験倍率は「倍」、その他は「人」

Q3

3年生で教養区分を受けた場合は翌年度に受験するときにも教養区分を受けた方がよいでしょうか？

異なる年度の受験情報(成績など)は合否・採用決定に影響しません。2年続けて教養区分を受験いただくことも、翌年は行政区分や機械区分などを受験いただくことも可能ですので、ご自身の状況に応じてチャレンジしてください！



採用情報の詳細はホームページをご覧ください

国家公務員試験
採用情報 NAVI
トップページ



国家公務員の紹介



試験情報
一般職試験
(大卒程度試験)



〈お問合せ先〉

〒100-8913 東京都千代田区霞が関1-2-3
人事院事務総局人材局企画課
TEL.03-3581-5311 (代表)

公務員を元気に 国民を幸せに

人事院
National Personnel Authority